

学 園 通 信



No. 251

九里学園高等学校 P T A

2012.7.20 発行



● 特集 「国際交流」

セント・ジョーンズ・ベリー アカデミー来校！

International Exchange

ST・JOHNSBURY ACADEMY KUNORI GAKUEN

Welcome to KUNORI GAKUEN

世界とつながろう

鈴木 精

国際交流課では「世界とつながろう」をスローガンとして、ボーダーレスの現代社会において、地球市民として真に国際感覚を身につけ、持続可能な社会を構築する態度や姿勢を身につけることを目標に、様々なプログラムを展開しています。相互依存で成り立つ私たちの暮らしを考えたときはもちろん、この地球という舞台で、様々な文化や習慣を持った人々が共存していく上で、相手を理解し、共に学び合い、協力し合っていく国際協調の精神を養うことはとても重要であり、その中でまた、自己を見つめ、自らが心豊かに人生を歩むうえでも、世界から学ぶ意義は大きいと思います。

そのために、本学園の国際交流課では、①交換留学、短期留学の幹旋、②海外研修、③外国からの訪日団の受け入れ、④国際理解教育の提供、という四つを柱にプログラムを組んでいます。昨年度は残念ながら

震災の影響で受け入れはなくなってしまいました。毎年のように短期留学に参加させたり、アメリカの姉妹校、セントジョーンズベリー、オーストラリアの姉妹校TRACの受け入れを行っています。一昨年度はさらに、ベトナムからの訪日団も受け入れ、生徒たちには同じアジアに生きる高校生とふれ合い、様々なことを考える非常に貴重な体験となりました。

いずれもホームステイを基本として受け入れていますが、ご家族からの方からも好評で、最初は仕方なく受け入れてくださったご家族も、最後の日には涙を流しながらお別れし、外国の「息子・娘」との生活を楽しんでいただいているようです。

今年も多くのご家庭にセントジョーンズベリー生の受け入れをお願いし、その生徒も、またそのご家庭でも一緒に買い物をしたり、料理を作ったりしながらとても貴重で楽しい日々を過ごされたようです。

皆さんもお子さんたちを海外へ送り出し、または受け入れることで世界とつながってみてはいかがでしょうか？

ホストファミリーを体験して

一年二組 平 大貴

僕の家には短い間だけジョージアンというオーストラリア人が来ていました。僕は今まで一度もホストファミリーをした事がなかったし英語を話せるわけでもなかった。初めて会った時は緊張して全然話す事ができませんでした。しかし、話しているうちに、だんだん言いたい事が分かるようになってきたのでとても楽しくなりました。

他にもジョージアンと一緒にいて学んだ事があります。それは日本とオーストラリアの違いです。一番違うと思った事は、誰とでもすぐに仲良く話すことができるという事です。

僕はホストファミリーをやってみて英語を話せなくてもある程度コミュニケーションはとれるんだなと思いました。



外国人を受け入れてみて

二年一組 関 龍太



初めての国際交流で最初で最後になるかもしれない体験をさせてもらいました。

外国人と日常生活を共にするということは考えたこともありませんでした。実際に生活をして思ったことは、ただ言葉がうまく伝わらないだけで、あとは自分達と同じ人間だから難しく考えなくても大丈夫だということでした。

最初のうちは、自分から話しかけられず、とても緊張していました。

相手から話しかけてきてくれたことで、なれることができ、単語ですが会話が出て来ようになりました。

短い期間でしたが、貴重な経験をする事が出来て良かったと思うし、いい思い出にもなりました。

ホームステイから得たもの

三年七組 萱森 まい



今回私がホームステイを受け入れた女の子はとても素直な子でした。彼女はホームステイ中、何回も「ありがとう」を言っていたので改めて感謝の気持ちの大切さをわかることができました。彼女は日本語が話せる子だったので細かいところまで意思疎通ができました。

また、そのおかげで英語でのニュアンスの違いを教えてもらい、単語の使い分けを教えてもらいとても勉強になりました。国は違うけど、同年代で悩みや心の中で思っていること、持っていることが同じで気持ち共有でき、大変貴重な体験になりました。このことを自分の進路や人生観にも繋げていき、もっと世界に目を向けていける人になりたいです。



九里での生活をふり返って

ラッドフォードカレッジより留学生

ジョーダン・キアン

日本語をペラペラ話せるようになりたいので、日本に来ることにしました。

九里で沢山良い経験をしました。大変お世話になりました。九里では本当に面白くて楽しかったです。皆は私の日本語をたすけて下さって、どうもありがとうございました。皆のごしんせつをありがとうございました。

オーストラリア

に来て下さい。

本当にありがとうございました。



九里学園の生徒にのぞむこと

PTA会長 金子 和幸



先ごろ高島支部の総会が開催され、その後の懇親会で自己紹介を兼ね「生徒に、我が子に望むこと」をうかがってみました。

先生にひっぱ叩くほど厳しくしてほしい。筋肉隆々に。自由でのびのび。先生の話を開けつ。勉強と部活の両立。気の利く男。心身共に健康。勉強を頑張つて。元気なあいさつ。思いやりの心。人に迷惑をかけない。なにか一つでも親より勝つて。負けん気をもって。優柔不断を直して。感動する人生。男らしく。甲子園出場。人間としての勉強。自立。

一言でとお願いしたので、子ども達の長所、短所といった特徴を考えて挙げられたのだと思いますが、共通しているのは、我が子の将来を思う気持ちです。厳しい社会が待ち受ける中、なんとか自分の人生を歩み、そして、幸せになってほしいという願いと、これまでの教訓がちりばめられた素晴らしい言葉だと感じます。

まず「健康」、肉体を鍛える。心（精神）を鍛える。病気に強い身体（からだ）と「礼と譲」「協同和楽」人間として生きていく強い力を身に纏ってほしいものです。一人一人にそれぞれの人生があるので、元気に進んでくれることが望みです。

人として

三学年部会長 高梨 進



最近ニュースや新聞紙上で様々な事件や嫌な出来事が報じられています。それらは、全て人としての良心が欠けているからだと思います。あるお寺の住職からお聞きした「十善戒」とは、私たちが悪いことに染まらず善いことを心がけるよう仏さまが示された実践です。それは以下のとおりです。不殺生（ふせつしょう）殺さない、むやみに生き物を傷つけない。不偷盗（ふちゅうとう）ものを盗まない。不邪淫（ふじゃいん）異性に対する邪な行為にふけない。不妄語（ふもうご）うそをつかない。不綺語（ふきご）飾つた言葉を使わない、へつらわない。不悪口（ふあくぐち）人を傷つける言葉を使わない。口には人を傷つける筈があると云われる。不両舌（ふりょうぜつ）

二枚舌を使わない。不慳貪（ふけんこん）欲深いことをしない。不瞋恚（ふしん）に（瞋（いかり）、高ぶる心を捨て人を慈しみの心で見ると。不邪見（ふじゃけん）物の本質をありのままに見る。全ての人として当たり前のことですが日々心がけ良識ある人であり続けてほしいです。

「生徒の皆さんへ」

二学年部会長 片倉 登



生徒の皆さん。毎日の勉強、そして、部活動に頑張っていること

でしょう。三年生は、自分の夢と希望に向かい、目標達成すべく、邁進して下さい。一年生は、入学してから三ヶ月が経過し、学校生活や部活動によりやく慣れてきた時期かと思えます。これから沢山の学校行事があります。三年間はあつというまに過ぎます。楽しい学校生活を送って下さい。さて、二年生は中間の学年となり、三年生への協力、一年生の模範とならなくてはいけない学年であることを自覚し、日々の学校生活を送って下さい。又、将来設計を考え、自分の進む道を決める学年でもあります。進学そして就職どちらにしても、九里学園高等学校の精神を忘れず、先生方の御指導をいただきながら、自分の目標に向かって努力をし、必ず目標達成するんだという気持ちをしつかり持って学校生活を送って下さい。生徒の皆さん。君達の将来は、無限に広がっています。九里学園高等学校の生徒でよかったと思う日が必ず訪れるでしょう。残りの学校生活を十分楽しんで下さい。

「親として生徒たちに望むこと」

一学年部会長 船山 幸二



思春期（十歳〜十八歳くらい）の発達課題は、「両親からの分離」と「自分探し、自分つくり」と言われています。

親から心理的な距離を置き、仲間づくり活動へ没頭、社会との関係を知ることと信頼出来る友人を求めながら本当の自分の確立に過敏になって、自己防衛意識や自己愛性が高まるようです。

高校生は、思春期の後期に位置し心理的な自己の独立性・自律性の仕上げの段階に入っています。

親は、そうした思春期の葛藤の中にあるわが子との付き合い方に戸惑いや不安を感じながら毎日を過ごしています。子ども達の「便利屋」となって、ビクビク・イライラする気持ちを抑えながら。

思春期の高校生は、仲間づくりが得意ですから、部活動に熱心に取り組めます。自己愛が強いので自分を高める挑戦を続けます。部活の合宿や各地への遠征を通して、様々な社会の有様と気配りの体験をし、以後の進路を考える時の冷静な思考力を育てる事になります。

親達は、学校生活（部活と学習）に仲間と協働で懸命に取り組むわが子の姿に感動し、力の限りサポートしたいのです。幸せの共有の為。

学年行事

フログレスコース

山大見学

一年六組 菊地 哲也

山形大学工学部を見学して、米沢の地で生まれた『有機EL』についてさまざまなことを学ぶことができました。また、最先端の技術に触れることができ、とても関心を持つことができました。

山形大学の図書館も見学することができ、様々な本や雑誌、器具もそろっていたので、今後、勉強などに利用していきたいです。



励ましの言葉で完歩!!

一年六組 嵐 結愛

トレッキングは学年全体で取り組んだ初めての行事でした。始めは弱気な言葉ばかりだったのが徐々に励ましの言葉に変わりました。全員が完歩することが出来ました。

また、最初から最後まで全員がまとまって歩くことができて、学級を超え、学年全体の絆を深めることが出来て良かったです。



仙台研修を通して

二年六組 雨田 織穂

二年プロは仙台研修で様々な大学、代ゼミ、自衛隊を見学してきました。大学と代ゼミの授業や機械の操作なども体験することができました。また、自衛隊の様々な仕事をビデオで見たり、戦争で使われた物を見学できたりと、良い経験ができました。この仙台研修で学んだ事をこれからの進路に生かしていきたいと思っています。

山形の真髄に迫る

三年七組 佐藤 愛海

私達のクラスは地元山形を知るというテーマで庄内旅行に行きました。庄内では、羽黒山に登ったり即身仏などを見学したりして、仏教の一部や自然に触れ、改めて山形の良さを知ることが出来ました。今後県外に出ていくことが多くなるとは思いますが全国に山形の良さを伝えていけるような人材になりたいと思います。

庄内旅行に参加して

三年七組 武田 直也

私は旅行当日熱があり、行く行かないかすごく悩み、行くことを決めました。旅行では、みんなのサポートがあり、最後まで楽しんで、地元のことをこんな知らないのかとびっくりしました。今回たくさん見たり聞いたりして、その分学べて、とても充実した良い旅行だったと思います。



一学年男子

トレッキング

一年一組 齊藤 葵瑠

学年行事で行ったトレッキング。二十キロという長い道のりでしたが、全員ケガもなく、無事、終わる事ができました。また、辛い時には、お互い支え合いの声がかえってきました。辛かったとは思いますが、少しは一学年について知る事ができたと思います。これからのあと二年間、ずっと同じ学年で支えていければと思います。



植樹

一年一組 川又 諒眞

一学年の学年行事二日目の植樹では、ヤマブキを植えました。最後まで集中して取り組むことができたと思います。何年かかって育つのかは、分かりませんが、すくすくと丈夫に育ってくればと思います。植樹したあとには、草むしりをしました。なんとかキレイになったと思います。午前中だけでしたが、しっかりとできました。

トレッキングGO!

一年二組 小山田光希

一学年は六月七日、八日に学年行事が行われました。

一日目は二十キロを歩くトレッキングでした。最初は若干小雨でのスタートでしたがゴールしてみたらきれいな青空が広がっていました。

この学年行事の経験を生かし、一学年の活発な活動を期待しています。



美しくなった米沢市

一年二組 高橋 佳維

一年男子は、毎年行われている植樹にとりくみました。僕達が植えた木は、ヤマブキ。前日のトレッキングで疲れがたまっていたが環境の事を考えて一生懸命取り組んでいました。歴代の先輩が植えたサクラの木はとても成長して大人の木になっていました。僕達が植えたヤマブキの木も数年後立派な木になる事を願います。

トレッキングを終えて

一年三組 遠藤 陽子

一年生は二回目の学年行事でトレッキングをしました。三組は「全員完歩！クラスの絆を深めよう！」を目標としてクラス全員で頑張りました。初めは歩くだけから楽勝だと思っていましたが、いざ歩き始めると上り坂ばかりでとてもキツかったです。でも、仲間と励まし合いながら完歩でき、さらに絆を深められて、楽しかったです。



青春 enjoy ☆

一年四組 菊地亜咲弥

四組のスローガンは「青春の汗を流そう」でした。雨が降ったり、止んだりしたけど、スローガンの通り青春の汗を流せたのでよかったです。クラスの仲も深まり、とても楽しかったです。友達ともゆっくり話すことができたし、普段話さない人とも話すことができたので、トレッキングをして本当によかったです。



初めて訪問した老人ホーム

一年五組 入沢 沙樹

学年行事の二日目に、私は老人ホームに訪問してきました。最初は、お年寄りにどう接したらいいか分からなくて戸惑っていたけど、散歩の時、車いすに乗ったおばあさんが微笑んでくれて緊張がほぐれました。最後には、みんな「ふるさと」を歌い、喜んでもらえてよかったです。楽しかったです。貴重な体験だったし、楽しかったです。



二学年 登山

男子 6/9~10 東吾妻山

学年行事について

二年一組 金子 拓海

二学年は、吾妻山に登りました。吾妻山といえば、素晴らしい山でそんな山に登れて良かったです。想像以上に厳しく大変でしたが誰一人かける事なく登り切る事ができました。

今回の学年行事で深まった友情を大切に、これからの色々な場所での力を発揮していきたいです。



学年行事を終えて

二年二組 渡邊 久弥

私たち、二年生男子は一泊二日で吾妻山へ登山に行ってきました。

天候には、あまり恵まれず登り始めて数時間で大雨にみまわれましたが頂上に着いてからは、すっかり晴れ綺麗な景色を楽しむことができました。悪天候の中でしたが、全員で登りきることができ、この登山を通して学年の団結力がより深まったと思いました。



二年 学年行事

女子 6/9~10 猫魔ヶ岳

猫魔ヶ岳ストーリー

二年三組 堀 稚菜

二年女子の学年行事は順調にスタートしました。楽しくおしゃべりしながら進んでいましたが猫魔ヶ岳は予想以上に険しく、みんな息が上がり、私の足は痙攣しました。でも、案内人の荒井さんや仲間や先生の励ましがあり乗り越えることができました。全員登り切ったことやキャンプファイヤーを通してクラスや学年の団結が深まりました。

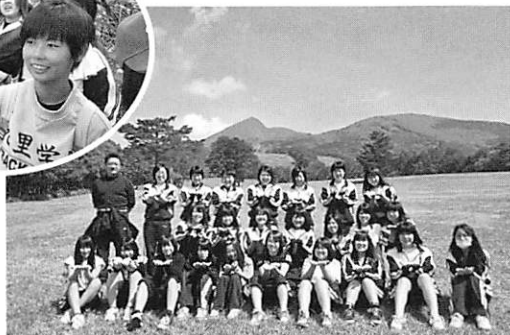


支えあいながら

二年四組 嵐田真由美

登山では、とても早く早く帰りたいと思っていました。でも仲間と励まし合い、時には歌ったりもして、登りきった時は達成感であふれていました。夜は、いつもは見られない仲間たちの笑顔や、先生たちのモノマネを見て、ほんとは楽しかったし嬉しかったです。

辛さを乗り越えたら笑顔が待ってるって感じられた行事でした。



深まった友情

二年五組 高橋 阿子

六月七日、八日に私たち二学年は登山を行いました。最初は皆の険しい表情が続くとても不安でしたが、頂上に近づくとつれ皆の表情が和らいできて、私もうれしかったです。いざ頂上に登れた時の感動はとてすばらしいものでした。この登山の経験を日常に活かしていきたいと思いました。

三年生 庄内旅行

庄内旅行について

三年一組 風間 雄貴

私たち三年一組は、「山形県の産業（未来）を考える」をテーマに庄内旅行に行ってきました。二日間いろんなところに行き、たくさんのことを学んできました。

酒田にある火力発電所では、二棟ある貯炭所には石炭二〇万トンが貯蔵されていて四〇日間発電できると聞いて驚きました。中国、オーストラリア、インドネシアなどから運ばれてきたそうです。また鶴岡の先端生命科学研究所では、苔から油を発生させる研究が進められており、石油に続く新たなエネルギーとして実用化を期待したいと思います。



庄内旅行

三年二組 佐藤 廉大

三年生の初めての学年行事はクラスごとに分かれての行事となりました。庄内旅行では、山形県にあるとは思っていなかった即身仏を見られたという事、庄内の自然に触れたという事が良い体験になりました。この旅行でクラスの交流や友情が深まったので、これからの行事に生かせるようにしていきたいです。

庄内研修のまとめ

三年三組 鈴木 天智

庄内研修では、同じ山形県でも米沢とは違った様々な文化に触れる事ができ、山形県の事に関して多くの事を学ぶことができ、とてもいい研修にすることができました。また、普段では体験できない座禅や、イカの一夜干しなども体験する事ができ、生涯忘れることのできないとてもいい思い出になりました。



庄内旅行

三年四組 鈴木 彩夏

私たち四組は、一日目は庄内の観光地を巡り、二日目は東北公益文科大学の見学に行ってきました。同じ山形県の中にある庄内でも、今回訪れた場所は初めて見る物、触れる物が多く、とても良い経験になりました。また、大学見学で一人一人の進学への意識も高まったと思います。これからのクラス活動も団結して頑張ります！



庄内旅行について

三年五組 西 夏美

三年の学年行事の庄内旅行では、今まで行ったことのなかったという所が多かったので色々と学べる旅行でした。私は、神社や寺、教会に行った事がなかったので、すごく景色が新鮮に見えました。庄内のおいしい物を食べ、色んな場所をまわり、クラスの皆とも楽しくコミュニケーションをとりながら過ごせたステキな旅行でした。



庄内旅行

三年六組 鈴木なつみ

庄内旅行では、舟下りやイカの一夜干し体験、また出羽三山神社で御祈禱をしていただきました。これらの体験は人生で初めてのことばかりで、とても貴重な体験となり、山形について深く知る事ができました。

この庄内旅行を通して、クラス内の仲が深まり良い思い出ができました。これからは自分達の進路に向けて頑張っていきたいです。



九里ユースフルスクール紹介

「大人の中で」

二年三組 堀越 遥

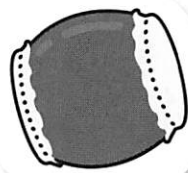
一年の初め、九里ユースフルスクールの紹介があった時に、私は自分の将来に役に立ちそうなものを選ぶうと思いました。そこで目についた講座が『憲法講座』でした。

なぜ『憲法講座』を受けたのかというと、年上の方と話す機会が持てると思ったからです。これから社会に出るため大切なのは大人との対話力だと思います。人と上手く付き合うためには自分の気持ちを言葉にして相手に伝えることが大切だと思います。

高校生は私一人だったのですが、日頃知らない大人達と関わることは私にとって新鮮な時間でした。この経験を生かし将来役に立てたいと思います。



ユースフルスクールで太鼓を始めて、最初はとても楽しくて、もともと叩きたいと思っていました。練習を増すごとに練習メニューも難しくなりましたが、先生に褒めてもらうと、辛さも楽しさに変わり、やりがいを感じます。先生は私達に大変熱心に指導をしてくださいます。そのおかげで、少しずつですが、上達してると思っています。受講者は少ないですが、先生の期待に応えられるよう一生懸命頑張ります。



「太鼓の楽しさ」

一年三組 菅原 瑞季

「自分で作った

望遠鏡で観た

星空に感動」

三年五組 橋本 実穂

私は、一年生のときに「宇宙散歩」講座に参加して、最初に自分で作った望遠鏡で観た星空に感動しました。高橋元樹先生から、星空や天体など宇宙について詳しく教えていただき、今までなんとなくぼんやりと見上げていた夜空にも、講座の回を重ねるごとにどんな惹かれていきました。特に、米沢スキー場でみた流れ星のあまりの速さに驚き、願い事すら出来ませんでした。とても綺麗な星空だったことは今でも脳裏に焼きついているくらいとてもいい思い出となりました。



編集後記

最近、報道で他県の災害を目にした耳にしたりします。その度に災害の少ない米沢を有り難く思います。

中間テスト、クラスマッチも終わりのよいよ夏本番です。

子供達には暑さで体力が低下しないように食事と睡眠に気を付けていきたいですね。

私達広報部も新メンバーで、より多くの出来事を伝えていきたいと思えます。

(高山 和子)

九里祭

一般公開
ご案内

9月1日(土) 10:00~15:00

お待ちしております